

太陽の光や熱を利用してお湯をつくる
 新開発の「光・熱複合型ソーラーシステム」を搭載。
 本格的な屋内オール電化で毎日の“節約”を実現する

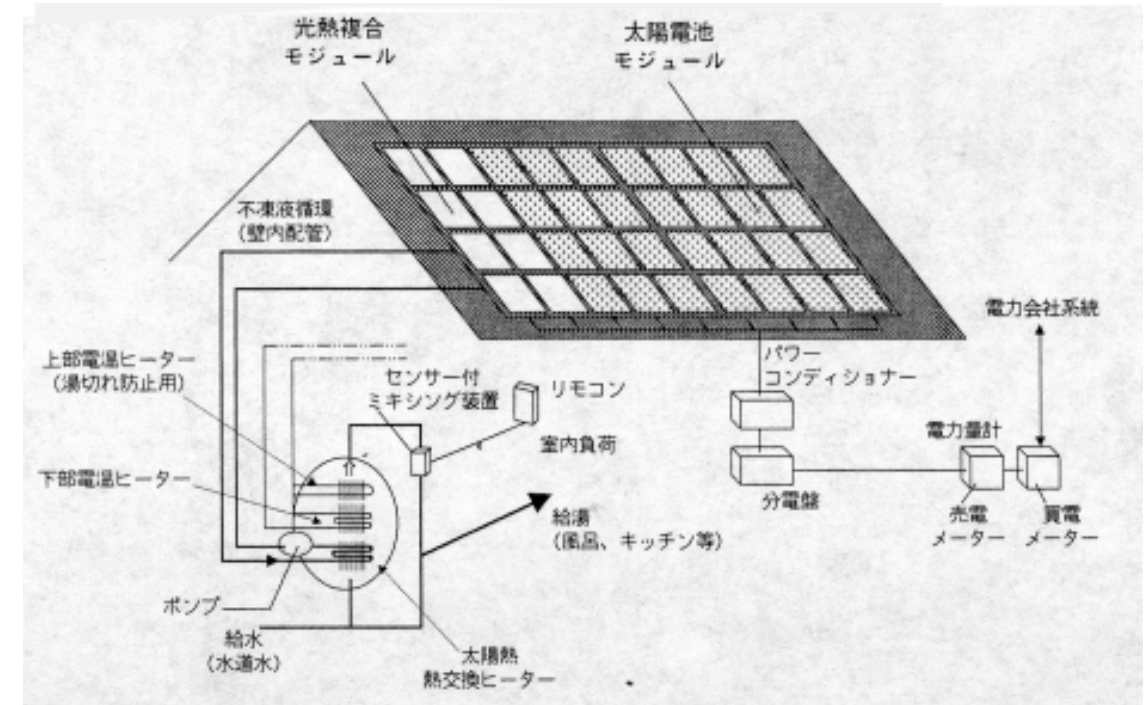
『進ドマーニ』

積水化学工業

セキスイハイムから省エネルギー性能と高耐久性に優れた鉄骨系ユニット住宅『進ドマーニ』が新登場しました。

『進ドマーニ』は太陽の熱や光など自然の恵みを生活に取り入れ、経済的に暮らすことを実現する住宅です。たとえば、勾配屋根には業界初の「オール電化対応型 光・熱複合ソーラーシステム」を搭載。冷暖房、キッチンコンロ、さらにはキッチン、洗面、

バスへの給湯までオール電化することで、ソーラーシステムで自家発電した電気を効率よく利用します。特に、今回は家庭用水道タンク内の水道水を温める蓄熱貯湯槽と、電気温水器が一体化したハイブリッド電気温水器を新開発。タンク内の水道水の一部(約20%)を太陽熱で50~60℃に沸かすことが可能です(晴天時)。また、余った電気は電力会社に売ることもで



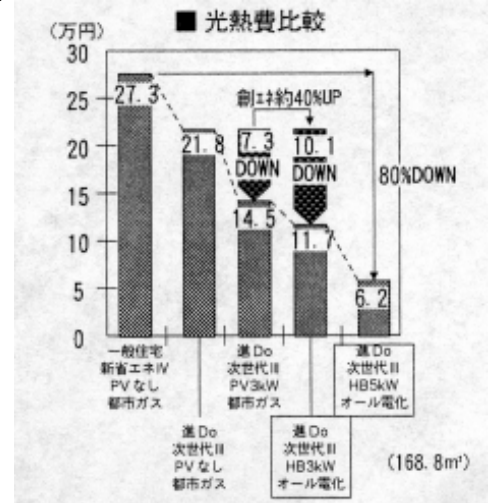
「オール電化対応 光・熱複合型ソーラーシステム」

きるなど「オール電化対応型 光・熱複合ソーラーシステム5kw」搭載で実邸ベースで、業界最高水準の光熱費削減率80%を実現しています(右図光熱費比較参照)。

さらに、ガーデニングや洗車など特に水道水を使う必要のない場合には、雨水を利用できる「雨水貯留・散水システム」を採用。細かな砂やゴミを取り除くので洗車も安心、約250リットルの雨水を貯留し、水道代を抑えます。

もちろん、セキスイならではの技術を活かした高断熱・高气密性能も保持。開口部には熱伝導率の低いプラスチック樹脂を使用した「ハイカットアルプラサッシ」と、断熱、紫外線の反射に優れた「ハイカットペアガラス」を採用するなどハイレベルな仕様を実現しています。

販売価格は3.3㎡あたり42万円台～(ソーラーシステム標準装備は3.3㎡あたり52万円台～)。



オール電化対応型 光・熱複合ソーラーシステム3kwタイプを搭載した住宅の場合、最も普及しているソーラーシステム3kwタイプと同じ設置面積で約40%増の創エネルギー(光熱費削減)を達成。

『進パルフェ』のもつ高气密・高断熱性能(次世代省エネルギー基準 地域仕様)と合わせた場合、実邸でも搭載可能な5kwタイプで一般的な新省エネ基準 地域仕様の住宅と比べて約80%の光熱費削減率を達成。



『進ドマーニ』

非塩素系素材を使用しているから
 ゴミ焼却時にも塩素ガスが発生しない
 地球にやさしい食品用ラップフィルム
『フォーラップ』

理研ビニル工業

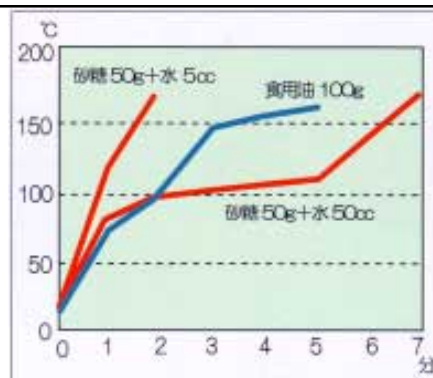
理研ビニル工業が発売している食品用ラップフィルム『フォーラップ』は焼却時に塩素ガスが発生しない非塩素系素材を使った環境にやさしいラップです。

現在、食品用ラップフィルムは塩素系と非塩素系の2つに大別され、中でも非塩素系のラップフィルムはゴミ焼却時に塩素ガスが発生しないという理由から、環境問題を気遣うユーザーに好評を得ています。実際に大手スーパーや生協などでは塩素系のラップフィルムの取り扱いを中止したところもあるほどです。

紹介するリケンの『フォーラップ』は非塩素系素材のポリメチルペンテンとポリブデンワン(柔軟剤)を使用。どちらも炭素と水素からなる素材で、ゴミ焼却時でも炭酸ガスと水に分解されるだけの環境にやさしいラップです。

特筆すべきは耐熱温度180 とラップの中では最高値を実現したこと。電子レンジの中は短時間でかなり高温になるものです(右図参照)。熱に強い『フォーラップ』なら加熱中でも破けたり、穴があいたりする心配はなし、お料理の下ごしらえや温めも安心してできますね。

30cm x 20メートルで300円。



新潟県消費生活センターの実験データによる
 電子レンジ温度上昇数値
 砂糖 50g + 水 5cc
 加熱後 2分で170 近くまで上昇します。
 砂糖 50g + 水 50cc
 加熱後 2分で100、水分が30%以下になる5分後から再び上昇し170 くらいになります。
 食用油
 加熱後 2分で100、5分後には160 まで上昇します。



ベルト固定式と置いてからベルトで固定する2タイプの
チャイルドシートで赤ちゃんの安全を守る。

『KiddyDreamer (キディドリーマー)』 『ACRS (アクルス)』

芦森工業

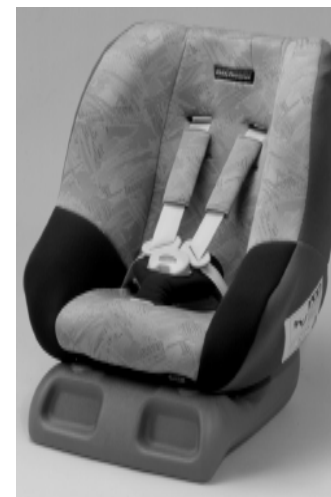
自動車安全部品の総合メーカー「芦森工業」から発売されているチャイルドシートは、従来型ともいえるシート固定式と置くだけの簡単装着型の2タイプ。従来型の固定式『キディドリーマー』は他社製品と比べてそれほどの特徴は見当たらないものの5点支持のシートベルトやワンタッチのバックルは部品メーカーとしての自信に裏打ちされている。置くだけタイプの『アクルス』はヨーロッパで普及している軽量簡易型で〔三菱自動車〕〔富士重工〕の純正チャイルドシート。始めに車のシートへ固

定するのではなく、チャイルドシートへ子供を座らせてからシートベルトでとめる。総重量2.4kgと軽く、衝突時の衝撃吸収性に優れている。本体が座部・背もたれ・インパクトシールド(体重9~15kgまで使用)の3分割になりコンパクトに収納できて、これならママさんでも容易に取り扱えそう。チャイルドシートからジュニアシートまで長く使えるのもうれしい。

問い合わせ

東京03-3246-7308

大阪06-6533-9261



固定式チャイルドシート『キディドリーマー』
標準小売価格 35,000円



置くだけ式チャイルドシート『アクルス』
標準小売価格 24,500円

ベビーからジュニアまで、安全と快適を標準装備したチャイルドシート『PAOPAOSERIES』でお子さんの安全を願うご両親の要望に応えます。

『PAOPAOSERIES BABY』

『PAOPAOSERIES CHILD』

『PAOPAOSERIES CHILD DX』

東海理化

自動車用乗員保護システムの開発総合メーカー「東海理化」が高度な技術力と蓄積されたノウハウを活かして作ったチャイルドシートパオパオシリーズ。生後12カ月以下(体重10kg未満)用『パオパオベビー』はゆったり大型シート構造を採用したベビー専用シート。殆どの車両の3点式シートベルト付き座席に簡単に装着できる。成長に合わせて最適位置でセットできるヘッドサポートなど赤ちゃんにやさしい親切設計。自動車から降りてベビーキャリア、ベビーラック、バギーと組み合わせてベビーカーとして活用と幅広く使える。2.5kgと軽量なので扱いも楽だ。『パオパオチャイルド』は生後6カ月～4歳(7～18kg未満)対応で子供の成長や体格に合わせてシートの形状が変えられる(のびのびシート)。台座部とシート部(本体)が分割式なので取り付けが簡単なのが大きな特徴だ。後ろ向き装着は台座を使わず赤ちゃんの最適なシート角度を実現、前向き装着は台座部をシートベルトで固定し本体をはめ込む(スーパーロックシステム - 特許出願中)。4段階クイックベルトアジャストにより大きさに合わせたベルト位置の

調整も容易にできる。

『パオパオチャイルドDX』はさらに安全性と快適性を充実して誕生した。対応はパオパオチャイルドと同様。取り外しできるヘッドサポートや大型サンシェード、抗菌加工を施したメッシュ仕上げのシートは通気性もよい、ハニカム状立体裏地の採用で体圧分散効果を上げ加重の集中を防ぐ。機能の充実ぶりと取り付けの簡便さは自動車安全部品メーカーの開発力と技術力が十分に活かされている。

問い合わせ 0587-95-7625



写真は『パオパオチャイルドDX』 55,000円
『パオパオベビー』 20,000円
『パオパオチャイルド』 35,000円